

# 作業所における権利擁護の態勢

---

工房だん 高木誠一

# 最近の施設虐待

---

準強姦容疑：知的障害者に暴行、生活支援員を逮捕 千葉

千葉県一宮町の障害者支援施設「青松（せいしょう）学園」の生活支援員だった男が昨年1月、重度の知的障害を持つ20代の女性入所者に性的暴行を加えたとして、準強姦（ごうかん）容疑で逮捕、起訴されていたことが関係者への取材で分かった。捜査関係者によると、男は、昨年1月下旬の夜、同施設内で、知的障害のため意思表示できない女性を性的に暴行した疑いが持たれており、容疑を認めているという。女性は暴行を受けて妊娠し、昨年8月に胎児を死産した。DNA鑑定から父親が榊田被告と判明したという。青松学園や県などによると、被告は事件当夜、別の男性職員と2人で夜勤だったが、男性職員は仮眠し、気づかなかったという。

青松学園を運営する社会福祉法人「児童愛護会」の施設長（53）は「被害を受けた利用者や家族に申し訳ない気持ちだ。入居者を守る立場だったのに、なんと言っているか」と話した。【毎日新聞 4月7日 森有正】

## 静岡県立児童福祉施設の職員が男児を

9人に18件確認 毎日新聞 2010年4月20日

県は19日、県立の児童福祉施設の男性職員3人が入所していた男児計9人（退所者も含む）に暴行を繰り返していたと発表した。暴行と認定したのは07年1月～09年11月までの計18件。男児はいずれも10代で、けがはなかったという。県は「虐待が確認された。深くおわびしたい」と謝罪した。施設名は明らかにしなかった。

県などによると、施設は県西部にあり、生活指導が必要な18歳未満の子どもを預かっている。具体的な事例は、▽農作業中の態度が悪かったとして男児の胸をつかんで押し倒した▽無断で外出した子どもが戻ってきた際、ほおを平手でたたいて正座させたーなど。

県によると、暴行していた職員3人は「必要以上にしかった。反省している」と話しているという。

09年4月の改正児童福祉法施行で、県が児童福祉施設の虐待状況を調べて公表する制度が導入された。

県によると、今年3月末までに、施設の入所者や家族らから計56件の通報があった。聞き取り調査などで、このうち今回発表した18件を虐待と判断した。県は3月31日、施設側に改善を指示した。県によると、虐待の通報があった別の1施設で調査を続けている。

## 知的障害児施設で虐待など441件 大阪市が改善指導

社会福祉法人「大阪福祉事業財団」が運営する知的障害児施設「すみれ愛育館」（大阪市城東区）で、平成17年4月から21年10月までの4年半に、職員による入所者への身体的虐待や厚生労働省令違反の疑いがある身体拘束など、計441件の不適切行為が確認され、市が14日発表した。市は3月29日、同施設に対して改善指導を行った。

市は昨年9月、虐待が行われているとの通報を受け、同施設の監査を実施した結果、不適切行為が判明。それまでも市は年1回の定期監査を行っていたが、気付かなかったという。

職員への聞き取り調査で確認された身体的虐待は6件。廊下の床に自分の頭を打ち付けていた入所者の少年の顔を男性職員が殴り、唇を5針縫うけがをさせたほか、興奮状態の入所者を制止しようと馬乗りになったり、入浴介助中に洗面器で頭をたたいたりしていたという。

また、入所者55人に対する不適切な隔離・拘束を435件確認。自傷行為を防ぐため両手を固定する革製拘束帯を就寝時にも使用したり、厚生労働省令で定められた記録手続きなどを行わないまま部屋に隔離したりしていた。

### 《虐待等の内容および経過について》

- 昨年9月30日に、市民から知的障がい児施設「すみれ愛育館」において虐待が行われていたとの通報があり、10月14日から延べ10日間調査を実施。
- その結果、10月23日に施設職員の聞き取り調査で、身体的虐待等の証言が取れた。
- 12月11日に個々のケースについて精査は出来ていないが、大阪市側とすみれ愛育館側双方で虐待が行われていた事実を確認。
- H17年4月～H21年10月まで、  
身体的虐待 6件、 施設等による隔離 延べ341件、身体拘束 延べ94件、 合計 441件の利用者に対す不適切な支援を確認
- 身体的虐待6件のうち、  
18歳未満の事案 2件、18歳以上の事案 3件、年齢特定ができない事案 1件 合計 6件

## 大阪の障害児施設で職員13人が日常的体罰 たたく・引きずる・馬乗りで押さえる

大阪府寝屋川市の知的障害児施設「月の輪学院」で、職員13人が入所児童ら21人に対して体罰などの虐待を日常的に繰り返していたことがわかった。少なくとも2年前から続いていたとみられ、府は児童福祉法に基づき同施設に監査に入り、改善報告を提出するよう指導した。児童らにけがはなかった。発表によると、同施設には知的障害児を中心に約50人が入所し、生活していた。このうち5～22歳の計21人が体罰を受けていた。

虐待に関与していたのは、職員約30人のうち男性児童指導員5人と女性保育士8人で、パニック症状になった児童の顔を平手でたたいたり、動かない児童を力づくで立たせたりするなどの体罰を加えていた。けんかをした児童を注意する際などに、服や体をつかんで引きずったり、馬乗りになって押さえたりしたこともあった。**同施設で実習中、虐待を目撃した短大生が指導教授に相談。昨年9月に教授が府中央子ども家庭センター（寝屋川市）に通報したことから発覚した。**府はその後、今年2月までに延べ10日間、監査を実施した。府の調査に、職員らは「そういう（体罰などの）方法が当たり前だという認識だった。皆がやっているからいいだろうと思っていた。注意する人もいなかった」と語った。施設を運営する社会福祉法人の理事長は「体罰は知らなかったが、責任を痛感している。重大な問題だととらえ、早急に府に改善策を提出したい」と話しているという。

(2010年4月7日 読売新聞)

## 定期監査で見抜けず

府によると、これまでの年1回の定期監査では、同施設で体罰などを確認できていなかった。昨年9月まで虐待などの情報が寄せられたことはなく、いつから体罰が始まったかは確認できないとしている。記者会見した府の担当者は「施設職員の認識の低さは言語道断。今後も強く指導していく」と述べた。

## 職員に余裕ない

桃山学院大の滝沢仁唱(ひとひろ)教授(社会福祉法)の話

「障害者自立支援法施行以後、補助金が減額され、十分な職員数を確保できない施設も多い。その結果、職員が入所者に向き合う時間的、心理的余裕がないという事態が起きている。そういった構造的な部分も変えないと、虐待問題の根本的な解決は難しいのではないか」



## 障害者施設職員の人権侵犯は61件...昨年

法務省によると、2009年に取り扱った知的障害者施設や高齢者施設での職員による人権侵犯事件（暴行、プライバシー侵害など）は116件にのぼり、2年連続の増加。うち、障害者福祉施設職員によるものは61件と、約半数を占めた。

公的施設での暴行事件を巡っては、同年5月、大阪市中央児童相談所で、非常勤職員の男（当時24歳）が、一時保護されていた男子中学生に暴行したとして、傷害容疑で書類送検された。同11月には栃木県の国立児童自立支援施設でも、男性職員が入所者の少女に暴行を加え、停職処分となった。

こうした施設職員による入所児童への虐待は最近まで想定されておらず、虐待を見つけた場合の児童相談所などへの通告義務はなかった。09年4月の改正児童福祉法で初めて、「被措置児童等虐待」と定義され、通告義務に加え、自治体などへの防止義務が盛り込まれた。

## 何故施設虐待が起きるのか

---

## 施設における虐待の共通点（知的障害者施設の場合）

### 虐待が表に出ない主な理由

- ・虐待事件の本質が利用者本人にも理解されていない。
- ・対応が困難な行動を抑えるのだから強い指導も必要だと、虐待の原因を問題行動に帰している。
- ・加害者が本来保護すべき立場にある職員であること。
- ・公的機関（行政側）が、事件を正面から受止めきれない。行政が虐待を隠蔽する役割を担うこともある。
- ・親が虐待する側を守る行動をとる。背景にわが子を預ける場のない、行き場のない状況がある。

### 虐待がおきる理由

- ・体罰の容認
- ・体罰という認識がない（指導、しつけと考えている）。
- ・体罰はいけないと思いつつ行ってしまう。職員の個人的性格、ストレス等にも関係している。
- ・職員側に利用者への支援のスキルがない場合が多い。

### 体罰を繰り返す理由

- ・体罰が発覚しない。
- ・利用者が言わない、言えない。
- ・利用者が言っているのに声が届かない→利用者の声を聞くシステムがない。
- ・職員が体罰を内緒にしている。仲間としてかばう傾向がある。
- ・体罰を上司に通告しても改善されない→通告が生かされないシステム。

## 私たちの話し方は？

- あなたにはわからないよね。私たちにまかせてくれないかな。
- それは絶対、あなたには無理。考えないほうがいいよ。
- そうしたことやってると、作業所にいられなくなるよね。
- お金貯めてから考えようよ。そのためには作業頑張って。
- あなたも協力してれなきゃ、私たちも応援できないよ。
- あなたは〇〇ができないんだから、できるようになってから望みなさい。
- 先のことを考えるより、今をがんばることが必要だね。
- 誰だって、思ったことはすべて実現できるわけではない。がまんすることも必要だよ。
- ご飯作れなきゃ地域生活は無理だよ。
- そうじゃなくてね・・・そういうことはね、こういうふうにして、そしてこうして・・・ね、こうするとうまくいくでしょう。じゃあ、これでいいね。
- ごめん。わたしじゃ無理なんだ。他の人に相談して。

## 利用者本人の意見

平成17年度静岡県小規模授産所等あり方検討委員会の  
利用者・保護者アンケートから

### 理解してほしい

- 精神障害者というだけで何らかの犯罪者または気ちがい扱いされるのは不本意である。
- 精神障害者に対する理解がほしい。あまり作業所を嫌わ  
ないでほしい。気持ちをもっと聴いてほしい。
- 変な目で見たり、汚い目で見るとはやめてほしい。
- もっと外に出ていろいろなことをしたいのですが、すぐ  
に見た目や言動で、授産所や警察などに通報されるので  
なかなか外出することができない。
- 授産所に行っているというところ、赤ちゃんがいるところと  
いう一般社会の偏見がある。自分の仕事と比べると劣等  
感がある。たくさんの持病があるので、もう何を言われ  
ても行くところがない。
- もっと理解してほしいし、親切にしてもらいたい面があ  
る。

## 差別しないで、大切にしてほしい

- 男の職員が脅したり差別をするものすごく怖い。
- お客さんがいても大声で怒鳴るのがいやです。
- 職員にいじめられることが何回もある。同じ事を他の人と私とでは叱り方が違う。悪口を言うと一ヶ月の自宅待機にさせられる。
- 職員の利用者に対する差別を感じる時があります。
- 職員が利用者にするさいと言っています。身障と知的障害者では職員接し方が違う気がします。無視がある気がする。もう少し楽しく仕事ができるようにしてほしいです。
- 自分のペースがあって「早くしなさい」といわれてもできないときがある。
- 自分が失敗して相談しても、もの凄く怒られるので辛い。自分ではどうにもならないので辛いのに、その上怒られると死にたくなってしまう。
- 職員は優しくしてほしい。
- 自分の言っていることをもっと聞いてほしい。

## 改善してほしい

- 職員さんの代わり方が早いのでついて行きにくいです。
- 作業所をもっと豊かにしてもらい、十分満足のいく社会生活、ゆとりのある作業所にしてもらいたい。
- 仕事中大声で話をするのをやめてほしい。
- 着替える場所を男と女と分けてほしい。
- 施設が古く防災対策も心配なので早く新しい施設が欲しい。
- トイレが1つしかないので増やしてほしい。
- もっと広い作業所にしてほしい。狭いのでいつもぶつかり合っけんかになる。仕事も大切ですが精神面もお願いします。
- 夏、クーラーをしてほしい。トイレ、洋式にほしい。
- もらうお金が少ないのでバス回数券代が高くて足りない。

## 工賃をあげてほしい

- 私たちの仕事を進んで探してほしいです。なるだけ働いてお金を少しでも多くもらいたいからです。
- 作業所で重い物を持ちます。体に無理が行くのでストレスがたまります。他の人の分まで負担することはできません。疑問に思っていることが言えないので悩みます。労働の割には工賃が安いので時給500円は欲しい。
- もう少し作業所の利用料金等が安く、工賃が上がればいい。
- 工賃をもっと上げて欲しいと思っています。
- 仕事上の話をちゃんと聞いて欲しいです。
- 作業所はAM9：30から始まりPM3：10で終了するが、PM5：00まで作業して工賃を多くもらいたい。

## 願い

- 一人暮らしをしているので、嫁が欲しいと願っています。
- 弱者にやさしい社会にしてもらいたいです。
- 障害があっても社会に出て働ける場がほしい。障害者を雇ってくれる職場が増えてくれるといい。
- みんなと作業をしているときはとても楽しいです。ぐあいがわるいときも先生に話をきいてもらいます。先生はみんなのことをとてもだいじにしてくれます。まだお母さんがいるので、先生とお母さんが何かとそうだんしてくれるので、いまのところは何もいうことはありません。
- 授産所の仕事が増えるようにしてほしい。公的支援を充実したものにしてほしい。
- みんなで良い商品が作れたり、働く意欲がわきでるような作業所をつくってほしいです。

## 要望

- 障害者を受け入れてくれる事業所がほしい。
- 社会が認めてくれて長い期間はたらきたい。工賃に助成してほしい。理解してもらって多く買ってほしい。
- 両親は高齢化しており、将来安心して仕事と生活ができる福祉制度を早く確立してください。
- 親亡き後の一生を安心して過ごせる老人ホームのような施設を地域にぜひ作っていただきたい。
- GHをつくってほしい。月5千円で入れて、終身でお世話になりたい。
- 地域で日中生活するようになって、自宅から歩いて通えるようになり、近所の人にも地域で自分たちが知られるようになってきた。住み慣れた場所で、今後も暮らせるようにGHが欲しい。
- 今は家を借りて一人で住んでいるのですが、できれば作業所に住むところを作ってください、そこで同じような人と一緒に住めるようになることを望んでいます。
- バスでおくりむかえをしてほしい。だめならバスのわりびきをおおくしてほしい。

- よわいものいじめしない社会になってほしい。
- 年金だけの生活では将来に不安です。GHに入ったり、自活しても、施設に入っても不安です。もっと安心して自立できるように考えてほしい。
- 作業所で65歳以上になって、その後の生活をどんな形で老後を暮らしたらいいかを行政に望みます。
- 作業所への補助金を多くしてもらいたい。私たちが毎月払う負担金を最小限にしてほしい。
- 高次脳機能障害者の就労施設を造ってほしい。
- 精神障害者を受け入れる会社をもって提供してほしい。
- 一度、作業所を見に来てほしい。

## 不安

- お父さん、お母さんがいなくなった後、相談にのってほしいです。
- 地震がきたとき、壊れそうで怖いです。
- シール巻きの検査とレンチむき大きな音で耳が痛いです。
- 初めての仕事などの時（特に急ぐときなど）パニックになりやすいため別の人やゆっくり教えてくれれば助かります。
- 作業所から社会復帰（就職）できるか不安です。
- 一日も早く就職ができるようになりたい。一般職場は無理なのでしょうか。福祉の職場がほしいです。
- 統合失調症で被害妄想になり殺されるのではないかと考えてしまう。光や音に敏感になり横になっても眠れないときがある。
- 職員は代わらないで欲しい。

## 利用者同士の間人間関係

- 作業をしている時の周りに話しかけてきてうるさい。しっかり作業してもらいたい。
- 友だちとうまくやれないので困っている。
- 作業所内で気の合う人と気の合わない人への対処の仕方を教えて欲しいというか学びたい。いろいろな境遇のある人の中でこの人だけは駄目という差別はあまりしない方がいい。
- 仲間とうまく受け入れられてもらえないときがあって1人になって寂しかったことがありました。もっとみんなが仲良く作業できたらいいのにと思いました。
- 同性で話の合う人がいなくていつもぼつんとなってしまう。もともと人付き合いがうまくないので困ってしまう。
- 友だちの間でたたかれたりつねられたりします。
- いじめはやめてください。
- 利用者同士のもめ事が多い。
- 周りの人も無視や睨む時がある。他の人にもこういう事があったと言っているのを聞いた。最初の頃はいじめが酷かった。

## 教えてほしい

- 障害者のニーズや状況に合わせて、ためになる情報を流してほしい。
- 社会に必要なことをもっと多く学びたい。
- 情報をわかりやすくしてほしい。
- 何かなんだかわかりにくい所が多いです。お互いの作業所へ来ている日との家族同士の話しもとれないし、年に1回ぐらいは職員と家族との話しをとれる食事会があってもいいのではと思います。
- 福祉についてもっと説明してほしい。

## 保護者の意見

---



## 作業所のサービスに望むこと

- 小さな作業所でも規約を作っておいた方が良くとおもう。
- 職員が忙しすぎる。
- 毎月行事などの予定表をプリントして欲しい。
- 問題行動等あったときはメモ用紙にでも良いので書き留めて知らせて欲しい（今まで何度かお願いしてあったのですが全くなかったの）
- 所作や言語等、自分の思ったことを伝えることが出来なかつたり、その日の体調の具合で仕事がいつもの作業ができなかつたり、覚えが悪かつたりするときに、職員がこの子は問題があるといってミーティングでとりあげて悪い所を追求するようなことがありましたが、もっと障害者としての扱いに気を配って欲しいと思うこともあります。